

様式例 13 指定管理者制度活用事業 総括評価シート

指定管理者制度活用事業 総括評価シート

評価年月日：令和4年7月20日

評価者：健康福祉局民間活用事業者選定評価委員会

1. 業務概要

施設名	井田重度障害者等生活施設
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務の概要	<ul style="list-style-type: none"> 障害者総合支援法（以下「法」と言う。）第5条第10項に規定された施設入所支援事業 法第5条第7項に規定された生活介護事業 法第5条第12項に規定された生活訓練事業 法第5条第8項に規定された短期入所事業 川崎市総合リハビリテーションセンター及び障害者福祉施設条例第147条の第5項に規定された体験宿泊支援事業 施設等の維持管理に関する業務、設置目的を達成するために必要な業務
指定管理者	名称 桜の風共同事業体 代表者：社会福祉法人育桜福祉会 理事長 萩原 利昌 住所：川崎市中原区西加瀬10-3 電話：044-422-8877
所管課	健康福祉局障害保健福祉部障害者施設指導課（内線：33619）

2. 「評価の視点」に基づく事業期間全体の評価

	評価項目	事業実施状況等
1	市民や利用者に十分な量及び質のサービスを提供できたか。	<ul style="list-style-type: none"> ●井田重度障害者等生活施設は、利用者の地域移行とその後の生活の支援を目的とした通過型施設というコンセプトをもって平成25年度より開設・運営されている。 ●「社会生活プログラム」での取り組みを中心に、自分自身の望む生活について考える機会を設け、日々の生活での取り組みが地域生活につながることを意識し、支援に取り組んでいる。 ●通過型入所施設として、どのような支援があれば地域生活を継続できるかという視点を持ちながら、地域からの相談やカンファレンスへの参加、障害特性アセスメントに関する協力など、利用者の地域生活支援の強化に積極的に取り組んでいる。また、移行後についても定期的な訪問を行うとともに、関係機関とのカンファレンス等に参加し、状況を共有するとともに必要に応じて支援のアドバイスをを行った。 ●このための人員確保や研修等による支援技術の向上に努めており、医療観察法対象者や医療的ケアの必要な方、在宅及びグループホームの支援困難事例等なども受け入れるなど、質の高いサービス提供に向けた取組を行った。
2	当初の事業目的を達成することができたか。	<ul style="list-style-type: none"> ●さくらユニットでは、長期にわたって入所生活をしてきた利用者を含め、身体・知的障害者一人ひとりの障害特性に合わせて、主体的に地域移行に取り組める支援を継続した結果、平成30年度から令和3年度までに22名がグループホーム等への地域移行を果たした。 ●もみの木ユニットでは、精神科病院を退院した方への地域移行支援に加え、地域生活を継続するための支援を実施した結果、令和3年度までに31名がグループホーム等への地域移行を果たした。
3	特に安全・安心の面で問題はなかったか。	<ul style="list-style-type: none"> ●令和2年度に事故が発生し、法人とともに検証を行った結果、記録上の不備などが見受けられたことから、以降は適切な記録をとるとともに、リスクの高い支援の場面における支援方法等を見直す等対応した。 ●施設及び設備の保守・管理については、委託業者により適切に行われ、また、報告された点検結果に基づき、優先度をつけて修繕を行った。 ●利用者の行動及び危険の予測を常に念頭に置いて支援し、また、ヒヤリハット事例の報告・検証を日常的に行っている。 ●災害等への対策については、大規模災害を想定した訓練を年に2回実施し、緊急時における職員対応の流れを再確認し、職員がより密に情報共有を行い、利用者の安全面の確保を図った。
4	更なるサービス向上のために、どういった課題や改善策があるか。	<ul style="list-style-type: none"> ●基準条例の配置基準に遵守した体制整備はなされているが、高度な医療的ケアのニーズに対して手厚い支援をしていくためにも、今後も人材確保に取り組む必要がある。また、リスクの高い支援の場面においても全ての利用者が安心・安全に生活できるよう情報共有を徹底し、職員が共通した視点を持って支援が行えるような体制作りが引き続き必要である。 ●高齢・重度の利用者の増加に対応することを見据えて、本施設のコンセプトを他機関と共有した上で密接に連携し、先駆的に取り組むことが求められる。 ●他から参考にされる支援を実施する施設として、積極的な情報発信をはじめとする役割分担を意識した一層の取組を進めることが求められる。

5	非公募更新のための条件を満たしているか (該当施設のみ)	当施設は非公募更新対象施設であったが、指定期間中の年度評価の結果により非公募更新の条件を満たさなかった。
---	---------------------------------	--

3. これまでの事業に対する検証

	検証項目	検証結果																																																																																																									
1	所管課による適切なマネジメントは行われたか。	<ul style="list-style-type: none"> ●毎年度終了後に事業報告書の提出があり、その際に運営状況の確認を行っている。また、ヒアリング等により履行状況を確認し、その他運営状況や施設設備に関することなどについては、随時情報連携を行っており、事業の実施状況の把握を行うとともに、運営法人が適正に業務を行っているか緊密に連絡を取っている。 ●事故が発生した場合は、指定障害者支援施設として定められた事故報告書を提出することとなっており、報告書の内容や施設職員へのヒアリング等により状況を確認した上で必要な指導を行っている。 ●令和2年の事故についても上記に基づき、事故発生の都度、報告書の提出を受けるとともに施設への聞き取り等を行い、適切な支援体制の構築に向けた指導を行ったところであるが、今後も指定管理者との連絡・調整をより密にしながら、履行状況を確認していく。 																																																																																																									
2	制度活用による効果はあったか。	<p>(サービスの向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2法人から成る共同事業体が、これまでに積み上げた力を発揮し、長く暮らし続ける入所施設ではなく、地域移行を着実に進めている。 <p>【利用実績】</p> <p><さくらユニット></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設入所支援 (定員50名)</td> <td>43</td> <td>43</td> <td>39</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>生活介護 (定員44名)</td> <td>44</td> <td>43</td> <td>38</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>短期入所 (利用人数)</td> <td>1,665</td> <td>1,703</td> <td>1,470</td> <td>1,277</td> </tr> </tbody> </table> <p><もみの木ユニット></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宿泊型自立訓練 (延人数)</td> <td>4,767</td> <td>5,693</td> <td>5,987</td> <td>5,485</td> </tr> <tr> <td>自立(生活)訓練 (延人数)</td> <td>2,513</td> <td>3,043</td> <td>3,279</td> <td>3,043</td> </tr> <tr> <td>短期入所 (延人数)</td> <td>1,258</td> <td>1,432</td> <td>1,206</td> <td>1,083</td> </tr> <tr> <td>体験宿泊 (延人数)</td> <td>456</td> <td>179</td> <td>202</td> <td>109</td> </tr> </tbody> </table> <p>(経費の節減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安定した給付費などの収入により、経営状態はおおむね良好な状況となっているが、令和3年度は前年度に多くの地域移行が進んだことやコロナ禍で短期入所の自粛等もあり、収支がマイナスとなっている。 <p>【収支状況】 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入合計</td> <td>694,476</td> <td>677,377</td> <td>686,818</td> <td>649,511</td> </tr> <tr> <td>給付費</td> <td>457,698</td> <td>446,997</td> <td>454,481</td> <td>416,554</td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料</td> <td>174,926</td> <td>175,518</td> <td>175,518</td> <td>182,931</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>61,852</td> <td>54,862</td> <td>56,819</td> <td>50,026</td> </tr> <tr> <td>支出合計</td> <td>683,314</td> <td>668,818</td> <td>669,756</td> <td>663,539</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>528,102</td> <td>538,271</td> <td>533,238</td> <td>537,260</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>64,577</td> <td>56,650</td> <td>57,801</td> <td>61,410</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>59,135</td> <td>61,900</td> <td>57,979</td> <td>58,163</td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入</td> <td>20,671</td> <td>4,615</td> <td>4,616</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5,298</td> <td>5,622</td> <td>12,676</td> <td>6,706</td> </tr> <tr> <td>施設整備等</td> <td>5,531</td> <td>1,760</td> <td>3,446</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	施設入所支援 (定員50名)	43	43	39	42	生活介護 (定員44名)	44	43	38	41	短期入所 (利用人数)	1,665	1,703	1,470	1,277		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	宿泊型自立訓練 (延人数)	4,767	5,693	5,987	5,485	自立(生活)訓練 (延人数)	2,513	3,043	3,279	3,043	短期入所 (延人数)	1,258	1,432	1,206	1,083	体験宿泊 (延人数)	456	179	202	109		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	収入合計	694,476	677,377	686,818	649,511	給付費	457,698	446,997	454,481	416,554	指定管理委託料	174,926	175,518	175,518	182,931	その他	61,852	54,862	56,819	50,026	支出合計	683,314	668,818	669,756	663,539	人件費	528,102	538,271	533,238	537,260	事務費	64,577	56,650	57,801	61,410	事業費	59,135	61,900	57,979	58,163	拠点区分間繰入	20,671	4,615	4,616	0	その他	5,298	5,622	12,676	6,706	施設整備等	5,531	1,760	3,446	0
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度																																																																																																							
施設入所支援 (定員50名)	43	43	39	42																																																																																																							
生活介護 (定員44名)	44	43	38	41																																																																																																							
短期入所 (利用人数)	1,665	1,703	1,470	1,277																																																																																																							
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度																																																																																																							
宿泊型自立訓練 (延人数)	4,767	5,693	5,987	5,485																																																																																																							
自立(生活)訓練 (延人数)	2,513	3,043	3,279	3,043																																																																																																							
短期入所 (延人数)	1,258	1,432	1,206	1,083																																																																																																							
体験宿泊 (延人数)	456	179	202	109																																																																																																							
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度																																																																																																							
収入合計	694,476	677,377	686,818	649,511																																																																																																							
給付費	457,698	446,997	454,481	416,554																																																																																																							
指定管理委託料	174,926	175,518	175,518	182,931																																																																																																							
その他	61,852	54,862	56,819	50,026																																																																																																							
支出合計	683,314	668,818	669,756	663,539																																																																																																							
人件費	528,102	538,271	533,238	537,260																																																																																																							
事務費	64,577	56,650	57,801	61,410																																																																																																							
事業費	59,135	61,900	57,979	58,163																																																																																																							
拠点区分間繰入	20,671	4,615	4,616	0																																																																																																							
その他	5,298	5,622	12,676	6,706																																																																																																							
施設整備等	5,531	1,760	3,446	0																																																																																																							

		収支差額	11,162	8,559	17,062	-14,028
※千円未満を四捨五入しているため、端数が合わない場合があります。						
3	当該事業について、業務範囲・実施方法、経費等で見直すべき点はないか	<ul style="list-style-type: none"> ●地域生活を実現・維持していくための通過型入所施設というコンセプトを持つ先駆的な施設であることから、専門性の高い人材の確保・育成など、このコンセプトを実現するための取組を実施していく必要がある。 ●基準条例の配置基準に遵守した体制整備はなされているが、高度な医療的ケアのニーズに対して手厚い支援をしていくためにも、今後も人材確保に取り組む必要がある。また、リスクの高い支援の場面においても、事故を起こさないような体制作りを引き続き行う必要がある。 				
4	指定管理者制度以外の制度を活用する余地はないか	<ul style="list-style-type: none"> ●当施設については、地域支援・調整機能を有しており、また、地域移行などの運営実績を定期的に評価することが求められる施設であって、その運営には市の継続した関与が必要なことから、平成30年3月策定の「高齢者・障害児者福祉施設再編整備計画」に基づき、引き続き指定管理者制度により運営することが望ましい。 				

4. 今後の事業運営方針について

<ul style="list-style-type: none"> ●当施設については、地域支援・調整機能を有しており、また、地域移行などの運営実績を定期的に評価することが求められる施設であって、その運営には市の継続した関与が必要なことから、引き続き指定管理者制度により運営することが望ましい。 ●令和2年度に発生した事故について、法人とともに検証を行った結果、記録上の不備などが見られたため、より一層のサービス提供等に係る記録の徹底やリスクの高い支援の場面においての支援方法の改善を求めていく。 	
---	--